

令和8年度中小企業等DX推進事業について

1 要旨・目的

県内の中小企業等のDXを後押しする令和8年度「中小企業等DX推進事業」の実施概要について報告する。

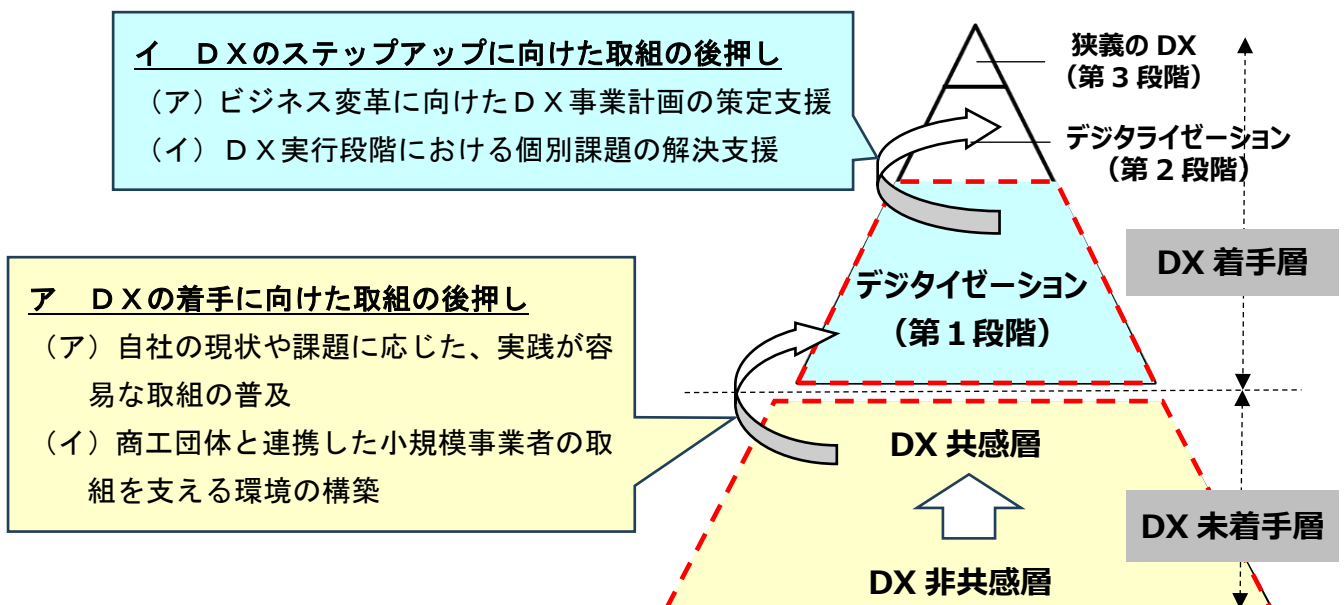
2 現状・背景

- 令和4年に策定した「広島県DX加速プラン」に基づき、中小企業等のDX推進の支援に取り組んでいる。(令和7年度事業の取組結果は別紙のとおり)
- 一方で、県が行った「令和7年度DXに関する実態調査」によると、DXに取り組んでいる県内の事業者は約3割と依然として低く、その多くがDXの第1段階(デジタイゼーション)に留まっている。
- また、生成AIの活用状況については、昨年度(約1割)よりも上昇しているものの、約2割に留まっている。

3 概要

(1) 実施内容

- DXに取り組めていない企業に対しては、低コストかつ短期間での実践が期待できる生成AI等を活用した「DXの着手に向けた取組の後押し」を行い、取組企業の裾野拡大を図る。
- 既にDXに取り組んでいる企業に対しては、DXを推進できる人材の育成などを通じて「DXのステップアップに向けた取組の後押し」を行い、新規事業創出等の付加価値向上に向けた取組を支援する。



ア DXの着手に向けた取組の後押し

(ア) 自社の現状や課題に応じた、実践が容易な取組の普及

a DXステップアップ研修【継続】

デジタル技術を活用した業務効率化等の実践に向けた取組を後押しすることを目的として、生成AI等のデジタル技術の活用に関する知識やスキルを習得し、業務での活用を支援する研修を実施する。

項目	内容
対象者	県内の企業、団体等に勤務している方 ※特に、DXの具体的な効果がイメージできない方やデジタルに対して苦手意識がある方、DXの必要性を感じているが取り組めていない方
実施内容	中小企業等がデジタル技術を活用した業務効率化等を実践できるよう、知識を深めるためのオンライン研修や、実践的なスキルを身につけるためのハンズオン研修に加えて、受講後に実際の業務でのデジタル活用を後押しするフォローアップ支援を実施。 (研修参加者数：800人)
実施時期	令和8年8月～令和9年2月（予定）

b 生成AI等活用モデル事例創出プロジェクト【新規】

業務効率化に向けた課題の整理から生成AI等を活用した取組の実践までを伴走支援し、業務効率化に係る身近な成功モデル事例を創出する。

項目	内容
対象者	DXに着手できていない事業者（主に従業員20名以下）
実施内容	業務効率化等の取組意欲はあるものの、リソースの制約から研修参加が困難な小規模事業者等に対し、生成AIを活用して業務効率化や販路拡大などの経営課題の解決を図るための伴走支援を実施。 (プロジェクト参加事業者数：20社)
実施時期	令和8年10月～令和9年1月（予定）

c DX協働モデル事例創出プログラム【継続】

小規模事業者の共通課題を複数の事業者が協働しながら解決する取組を伴走支援し、モデル事例を創出する。

項目	内容
対象者	小規模事業者
実施内容	商工団体や業界団体と連携し、同地域・同業種の小規模事業者が共通して抱える課題の解決に向けて、令和7年度に実施したバックオフィス業務や物流領域における課題解決プロジェクトの強化・拡充を検討するとともに、その他の共通課題解決に向けたプロジェクトについても展開。 (プロジェクト実施件数：4件)
実施時期	令和8年8月～令和9年3月（予定）

d DX事例共有会【継続】

DXに着手できていない事業者に対する実践意識の醸成や行動変容の支援のため、DXの取組事例を紹介し、取組の参考やきっかけとなるイベントを実施する。

項目	内容
対象者	DXに着手できていない事業者（主に従業員100名以下）
実施内容	人手不足や売上拡大などの経営課題を解決するために、実際にDXに取り組み、成果を上げた事業者による事例紹介や、専門家による深堀解説、個別相談会等を実施。 (イベント参加者数：400人)
開催方法	ハイブリッド ※一部アーカイブ配信あり
実施時期	令和8年9月～令和9年2月（全5回）

(イ) 商工団体と連携した小規模事業者の取組を支える環境の構築

生成AIを活用した経営支援モデルプロジェクト【新規】

商工団体の経営指導員による経営相談（現状分析や課題整理等）の標準化・効率化に向け、生成AIを活用した経営支援モデルの構築に向けた実証を行う。

項目	内容
対象者	県内商工団体の経営指導員
実施内容	経営指導員を対象としたワークショップや個別伴走支援を通じて、経営支援業務に資するツール（経営支援モデル）を構築し、事業者支援の実務において試行的に活用し、その効果を検証。 (プロジェクト参加者数：10名)
実施時期	令和8年6月～令和9年3月（予定）

※ 上記の取組に加えて、これまでに作成したDX取組事例集や簡易診断ツール等の各種ツールの利活用を促進する。

イ DXのステップアップに向けた取組の後押し

(ア) ビジネス変革に向けたDX事業計画の策定支援

ビジネス変革に向けた中核的人材育成プログラム【継続】

事業者のビジネス変革に向けて、社内業務全体のプロセス改革などの取組を推進することのできる人材を育成するプログラムを実施する。

項目	内容
対象者	広島県内に本社や主たる事業所を有し、既に「デジタルイノベーション」に取り組んでいる事業者
実施内容	・ビジネス変革に向けたDX事業計画を策定するため、ワークショップ及び個別支援を実施。 ・プログラム期間中に、策定したDX事業計画について社内合意を得ることを目指す。
実施時期	令和8年7月～令和9年2月

(イ) DX実行段階における個別課題の解決支援

DX推進モデル事例創出プログラム【継続】

DX実践に課題が生じている中小企業等の支援を行うことにより、DX先進企業を目指し、自立的・継続的にDXに取り組むDX推進モデル事例を創出する。

項目	内容
対象者	DX事業計画を策定している事業者 (例：令和6・7年度中核的人材育成プログラム参加事業者等)
実施内容	参加企業の課題やニーズに応じて、伴走支援及びオンラインで個別に相談対応を行う支援を組み合わせたプログラムを実施。 (プログラム参加数：30社)
実施時期	令和8年8月～令和9年2月(予定)

(ウ) DX事例共有会【継続】(再掲)

(2) 予算(一部国庫)

122,192千円

※うち物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金：37,935千円

4 その他

- ・広島県DX推進コミュニティHP：<https://hiroshima-dx.jp/>
- ・広島県DX加速プラン：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-dx-torikumi/plan.html>

令和7年度広島県DX推進事業の取組結果について

1 概要

事業者のビジネス変革に向けた取組を後押しするため、社内でDXを推進できる中核的人材の育成やビジネス変革の実践の支援に取り組むことにより、地域のモデルとなる事例の創出を目指すとともに、引き続きDXの第1段階の着手に向けた後押しを行い、DXに取り組む事業者の裾野拡大に取り組んだ。

2 各取組の結果

ア ビジネス変革に向けた取組の後押し

(ア) ビジネス変革に向けた中核的人材育成プログラム

事業者のビジネス変革に向けて、社内業務全体のプロセス改革などの取組を推進することのできる人材を育成するプログラムを実施した。

項目	内容
対象者	広島県内に本社や主たる事業所を有し、既に「デジタイゼーション」に取り組んでいる事業者
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス変革に向けたDX事業計画を策定するため、全5回のワークショップ及び個別支援を実施。 ・プログラム期間中に、策定したDX事業計画について社内合意を得ることを目指した。
実施時期	令和7年8月～令和8年3月
実績	<p>プログラムに参加した30事業者のうち29事業者において、DX事業計画を策定。</p> <p>※プログラムの活動報告掲載先： https://hiroshima-dx.jp/pages/417/detail=1/b_id=4644/r_id=1704#block4644-1704</p>

(イ) DX事業計画に基づく実践支援

ビジネス変革のモデル事例を創出するため、DX事業計画を策定している事業者に対して計画に基づく実践を支援した。

項目	内容
対象者	DX事業計画を策定している事業者
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者の現状や課題を踏まえ、ビジネス変革の実践に向けた個別支援を実施。 ・あわせて、支援した事業者の取組を波及させるために進捗報告会等を実施。
実施時期	令和7年10月～令和8年3月
実績	<p>5事業者に対して個別課題の解決に向けた伴走支援を実施するとともに、企業の幅広いニーズに対応するため5事業者に対してオンラインによる個別支援を実施。うち2社については、「DX認定」取得を申請。</p>

イ DXの第1段階の着手に向けた後押し

(ア) DX事例共有会

DXに着手できていない事業者の実践意識を醸成するため、DXの取組事例を紹介し、取組の参考やきっかけとなるイベントを実施した。

項目	内容
対象者	DXに着手できていない事業者
実施内容	人手不足や売上拡大などの経営課題を解決するために、実際にDXに取り組み、成果を上げた事業者による事例紹介や、専門家による深堀解説、個別相談会等を実施。
実施時期	令和7年10月～令和8年2月（全6回）
実績	延べ247名が参加。

(イ) DXステップアップ研修

デジタルツールの活用方法等を段階的に学ぶ機会を提供し、受講者のDXの取組に向けた主体的な学習や検討、自社での働きかけ等の具体的な行動を促すオンライン研修を実施した。

項目	内容
対象者	県内の企業、団体等に勤務している方 ※特に、DXの具体的な効果がイメージできない方やデジタルに対して苦手意識がある方、DXの必要性を感じているが取り組めていない方
実施内容	参加者のデジタルリテラシーやニーズを踏まえ、レベル分けした4つのコースから段階的に学べるオンライン研修を実施。
実施時期	令和7年7月～10月（全13回）
実績	延べ934名が参加。

(ウ) DX協働モデル事例創出プログラム

DXに着手する小規模事業者を増加させるため、同地域や同業種等の小規模事業者が協働してDXに取り組む事業を実施した。

項目	内容
対象者	小規模事業者
実施内容	次の2つのプロジェクトを商工団体と連携して実施。 【バックオフィスDXプロジェクト】小規模事業者からの相談が多い会計などのバックオフィス業務における共通課題に対して、生成AIを活用し解決を図る手法についての有用性等を検証。 【物流DXプロジェクト】庄原地区の農業事業者が生産する野菜や加工品等の農産物を、ライブコマースを活用して新規需要開拓を図るとともに、貨客混載の路線バスを活用して農産物を広島市内（ひろしま夢ぷらざ）まで共同輸送し、受渡しを行うビジネスモデルの有用性等を検証。
実施時期	令和7年9月～令和8年3月
実績	【バックオフィスDXプロジェクト】8事業者が参加し、生成AIを活用した会計業務などの効率化につなげる支援を実施。 ※プロジェクト実施結果掲載先： https://hiroshima-dx.jp/backoffice 【物流DXプロジェクト】3事業者が参加し、ビジネスモデルの一定の有用性等を検証。 ※プロジェクト実施結果掲載先： https://hiroshima-dx.jp/logistics/